



ふぁみさぽだより

寒さも少しずつ和らいできました。

今回のレベルアップ講習会は、松山赤十字病院副院長 小谷 信行先生をお迎えして、『子どもの行動の背景をとらえる』をテーマに行いました。育児の援助を行うための知識を幅広く習得することができ、なおかつ人間関係を築く上で必要なコミュニケーション能力の育て方についてのお話もしていただきました。私たちが日常忘れがちな子どもとの『生の会話の大切さ』を思い出させてくれた講習でした。



松山赤十字病院 副院長
成育医療センター長
小谷 信行先生

【講義より】

子どもとの対話は、おなかの中から始まっています。コミュニケーションの基本は『まねる⇒鍛える⇒磨き上げる』の繰り返しです。それに、子どもの成長はそれぞれ違います。障がいがあっても、それは一つの特徴(個性)として捉え、焦らずいつもおおらかに見守る姿勢が大切です。メディアは一つの手段として、依存せず上手に付き合いきましょう。



講習会の様子



27名が参加し、講義開始。みなさんの真剣な眼差しに、先生のお話も更に熱を帯びます。



受講者にやさしく話しかけ、時には質問形式で語りかけながら、常に受講者のそばで和やかに講習が進んでいきました。

参加者の感想

- 子どもに対してだけでなく、すべての人間関係に対応できる内容だった。コミュニケーションの大切さがよくわかった。自分の思いを言葉で伝えるのは難しいですが、頑張りたいと思う。
- 今までの知識が一つにつながった感じだ。コミュニケーション不足だったと自分の子育てを反省した。
- こんなに素晴らしいスーパーマンのような先生がいらしたのですね。どんなにか母子の味方であったかがよくわかり、イギリスへ行かれるとの事、心細く残念ではありますが素晴らしいです。
- とても勉強になった。子育ての不安も多くあるが、少し力づけられてうれしかった。
- リックの「Dr.コダニ」のコーナーを見ている。ご本人のお話を生で聞けてよかった。私は助産院の畳の上に布団でお産をした。とても幸せなお産だった。また一人、いい先生に出会えた。
- 子どものコミュニケーションについて知ることができた。早速「コミュニケーションは真似から」を取り入れて接したいと思う。
- 会話ではなく、対話が大事だということがわかった。
- 毎回聞いても、何かをもって帰ることができる。
- これからの私自身の援助活動や子育てに役立てたいと思います。



※たくさんのご感想、ありがとうございました。今後の援助活動に活かしてください。

今回の講習で、平成25年度レベルアップ講習会はすべて終了しました。

来年度も魅力あるレベルアップ講習会を開催したいと思います。詳細は、決まり次第順次「はーと通信」・HP などでお知らせしますので、たくさんのご提供会員さんのご参加をお待ちしています。

